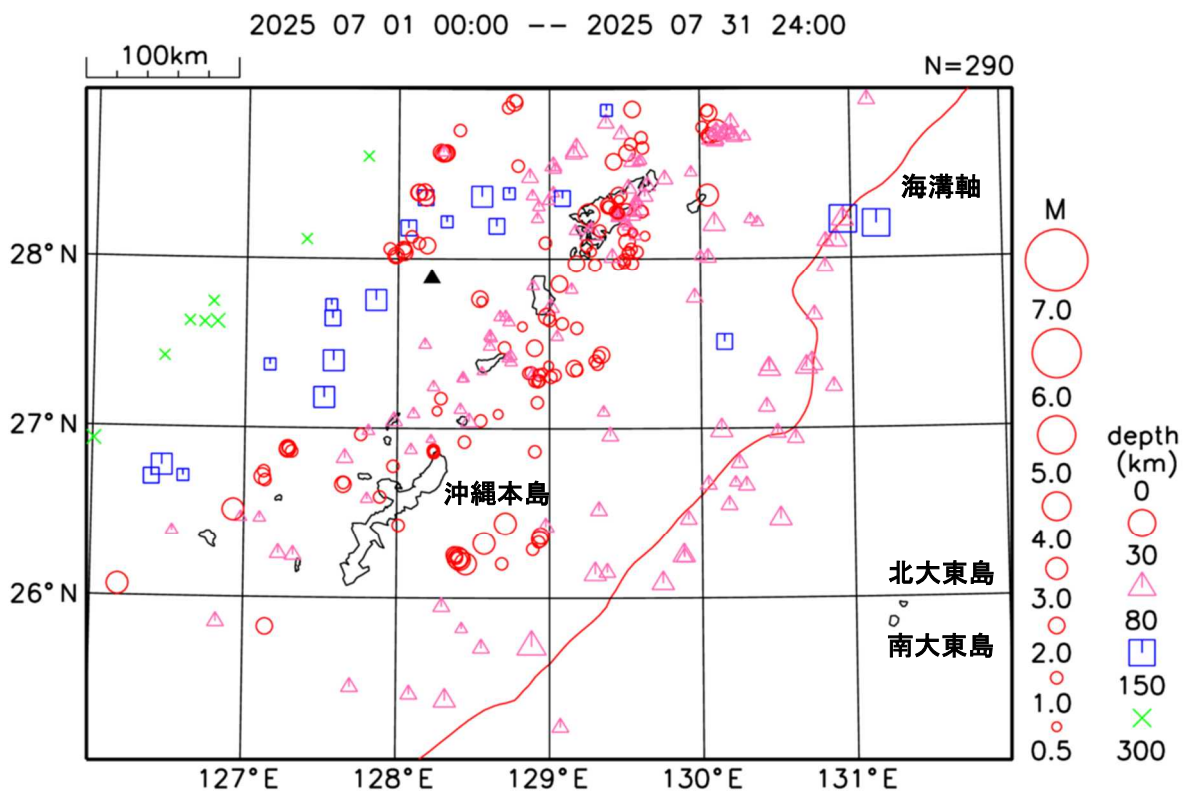


大東島地方の地震活動

令和 7 年（2025 年）7 月

南大東島地方気象台

大東島地方及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード 0.5 以上の回数です）

▲：活火山

大東島地方及び沖縄本島地方で震度 1 以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

7 月に大東島地方で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（6 月は 0 回）。

なお、沖縄本島地方でも震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（6 月は 2 回）。

30 日 08 時 24 分（日本時間）、ロシアのカムチャツカ半島東方沖の地震（Mw8.8、深さ 35km：Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）により、岩手県の久慈港で 1.4m（速報値）など、北海道から沖縄県の太平洋沿岸を中心に広い範囲で津波を観測しました。この地震に対し、大東島地方に津波注意報を発表し、南大東漁港では津波（高さ不明瞭：速報値）を観測しました。

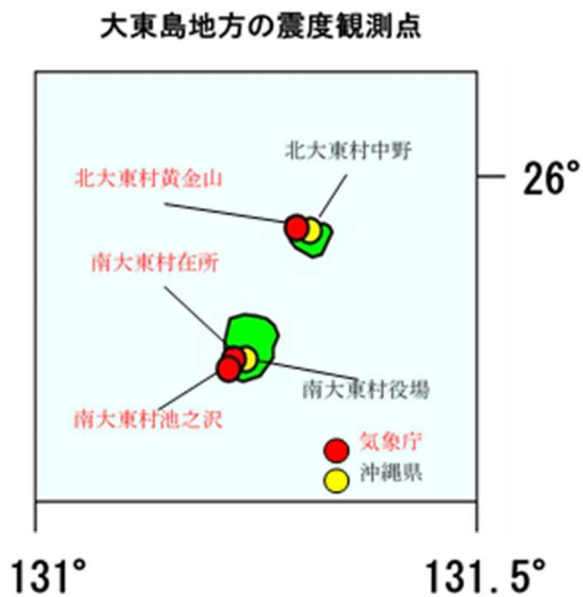
※資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。



※ 過去の資料は南大東島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/daitou/shosai/kansoku/katudouzu.html>



※ 過去の沖縄地方（沖縄県）の地震活動については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>



※ 震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>



※ 防災一口メモ（沖縄気象台HP）

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

